

A X E L M A R K I N C .

証券コード：3624（東証グロース）

# 本資金調達パッケージに関する 補足説明資料

株式会社コンヴァノ（証券コード：6574 東証グロース）を割当予定先とする第三者割当増資、コミットメント型タームローン・ファシリティ契約の締結及び連結子会社化について

TOTAL FINANCING PACKAGE

合計 **39** 億円（エクイティ 9 億円 + デット 30 億円）

コンヴァノ社の全面的後方支援のもと、中期的に時価総額 200 億円の達成を目指す

# 目次

---

01 エグゼクティブ・サマリー  
*Executive Summary*

---

02 本臨時株主総会の極めて重要な意義  
*Why Shareholder Approval is Critical*

---

03 資金調達手段の比較検討  
*Funding Alternatives Considered*

---

04 なぜコンヴァノ社が唯一の選択肢か  
*Why Convano is the Only Choice*

---

05 本資金調達パッケージのスキーム  
*Structure of the Package*

---

06 コンヴァノ社からの5つの戦略的支援  
*Five Pillars of Strategic Support*

---

07 成長戦略：時価総額 200 億円達成への道筋  
*Path to JPY 20bn Market Cap*

---

08 希薄化の規模と発行後の資本構成  
*Dilution & Post-Issuance Capital*

---

09 既存株主保護の多層的措置  
*Shareholder Protection Measures*

---

10 本件実施のメリットと本件不実施の場合の帰結  
*Benefits & Consequences*

---

11 今後のスケジュール  
*Timeline & Next Steps*

---

# エグゼクティブ・サマリー

コンヴァノ社を新たな親会社・支配株主として迎え、合計39億円の資金供与と全面的事業支援により、上場維持・継続企業疑義解消・早期黒字化の同時実現を目指す

⚠ 本臨時株主総会において本件が承認可決されなければ本資金調達は実施されず、改善期間満了日（2026年9月末日）までの上場維持基準適合は極めて困難となります。

## 01 CRISIS

### 深刻な経営課題

改善期間満了日まで残り約4か月。①時価総額40億円基準未達（2026年5月28日時点で約10億円）、②継続企業前提に重要な不確実性、③2Q累計の連結営業損失△303百万円という三重苦に直面。

## 02 PARTNER

### コンヴァノ社という戦略パートナー

500院超の医療機関ネットワーク、医療DX、M&A実行能力を有する東証グロース上場事業会社。連結営業利益1,484百万円（FY26.3通期）の財務基盤で全面支援。

## 03 PACKAGE

### 39億円の資金 + 5つの戦略的支援

①第三者割当9億円（@20円）+②本ファシリティ30億円（年率2.0%固定/5年）の一体不可分の調達。加えて医療機関紹介、M&A、医療ローン、PMI、役員派遣の5つの支援策。

## 04 VISION

### 時価総額 200 億円目標

コンヴァノ社の経営戦略上の中期的目標として、アクセルマーク社の時価総額 200 億円達成を明確に位置付け。

(注) 本資料は本日付の各適時開示書類の補足資料です。詳細は当社及び株式会社コンヴァノの本日付各適時開示書類をご参照ください。

## 本臨時株主総会の極めて重要な意義

本資金調達パッケージは、本臨時株主総会における以下議案の承認可決を本件前提条件としており、承認されない場合、本件は実施されません。

### 決議事項 第三者割当による新株式発行の件 特別決議 議決権の2/3以上

- ・ 本第三者割当増資に係る有利発行承認 会社法第199条第2項・第3項、第201条第1項、第309条第2項第5号
- ・ 本株主意思確認決議 上場規程第432条（希薄化率221.53%のため）
- ・ 特定引受人への募集株式の割当承認 会社法第206条の2第4項

#### ✓ 当該決議事項が可決された場合

- 2026年7月2日：本第三者割当の払込完了、コンヴァノ社による当社の連結子会社化が完了
- 本ファシリティ（30億円）の貸付実行可能（順次実行）
- 改善期間満了日（2026年9月末）までに上場維持基準達成に向けた成長戦略を実行
- コンヴァノ社の全面的後方支援により2027年9月期黒字化、中期的に時価総額 200億円を目指す

#### ✗ 当該決議事項が否決された場合

- 本資金調達パッケージ（39億円）は実施されない
- 改善期間満了日までの時価総額基準適合は極めて困難
- 監理銘柄（確認中）指定 → 所定の猶予期間内に基準未達のままだと上場廃止
- 既存株主は流動性喪失、市場性喪失、株式価値の重大な毀損という回復困難な不利益

既存株主の皆様の総会出席及び議決権行使が、当社の存続と中長期的な企業価値向上にとって決定的に重要

## 他の資金調達手段はなぜ選択し得なかったか

本件決定に先立ち、以下の7つの評価軸に基づき広範な資金調達手段を比較検討した結果、いずれも実務上困難又は不適切と判断

(A) 必要調達額	(B) 完了時期	(C) 希薄化規模	(D) 実行支援	(E) 調達コスト	(F) GC影響	(G) 中長期支援
代替手段	判定	選択し得なかった理由（要約）				
公募増資	×	上場維持基準未達・GC注記の状況下では引受証券会社のファーム・コミットメント確保が実現困難。需要積上げに数か月を要し改善期間満了日までの完了不能。				
株主割当増資	×	業績・GC状況に照らし既存株主による新株引受の実現可能性が低い。基準日・権利落ち・払込期日等の手続所要期間からも完了不能。				
金融機関追加借入	×	GC注記の存在・担保余力不足・M&A使途の無担保融資の困難性・必要規模の純資産対比から実務上困難。				
MSワラント	×	既存新株予約権の実績では発行から約4か月半で約41百万円のみ調達。改善期間内の確実性なし。継続的株価下落圧力で時価総額基準適合がかえって困難化。				
劣後ローン／メザニン	×	資本性認定のハードル、金利水準、手配可能額、貸付人候補の実在性の各観点から、必要規模の調達は実務上困難。				
事業会社向け第三者割当 + デット	○	改善期間内の確実な調達、中長期的支援意思、M&A実行支援、必要規模39億円の充足、有利な金利（年率2.0%）等を総合勘案し、本件が唯一の現実的選択肢。				

結論：事業会社（コンヴァノ社）向け第三者割当増資と当該事業会社からの低利デット供与の組み合わせのみが、必要規模・確実性・支援体制の全てを充足する唯一の選択肢

## なぜコンヴァノ社が唯一の選択肢か

国内外の事業会社・PEファンド・VCに対する個別打診の結果、当社が引受先に求めた全条件を充足する唯一の候補先がコンヴァノ社

01

### 改善期間満了日までの確実な調達



迅速な社内意思決定プロセスを備え、2026年9月末日までのスケジュール対応が可能

02

### 39億円規模の財務基盤



連結資産18,777百万円・営業利益1,484百万円（FY26.3通期）。自己資金及び資金調達枠で確保済

03

### ヘルスケア領域の事業遂行・M&A実行能力



美容分野顧客基盤、ヘルスケア商材卸売・販売、医療DX支援、500院超の医療機関ネットワーク、I&A事業のM&A実行ノウハウ

04

### 中長期的な事業支援の意思



アクセルマーク社の時価総額 200 億円達成を支配株主としての中期的目標として明確に位置付け

05

### 短期売却リスクの抑制



払込期日から6か月間のロックアップ受諾及び中長期保有方針の書面表明により、短期売却リスクを抑制

06

### 上場会社としてのガバナンス水準



東証グロース市場上場会社として当社と同等以上のコーポレート・ガバナンス及び適時開示実務への理解

コンヴァノ社以外のいずれの候補先からも、本資金調達パッケージの引受け・提供は実務上困難である旨の回答を取得

# 本資金調達パッケージのスキーム（39億円・一体不可分）



① エクイティ（第三者割当増資）		9 億円
割当予定先	株式会社コンヴァノ（6574 東証グロース）	
発行新株式数	45,000,000 株	
発行価額	1株につき 20 円（有利発行該当）	
調達額	900 百万円（差引手取 885 百万円）	
希薄化率	221.53%（25%ルール超／300%ルール内）	
払込期日	2026年7月2日（連結子会社化完了日）	
ロックアップ	払込期日から 6 か月間	
保有方針	中長期保有	

+

② デット（コミットメント型タームローン）		30 億円
貸付人	株式会社コンヴァノ	
契約形態	コミットメント型タームローン・ファシリティ	
融資極度額	30億円	
利率	年率 2.0%（固定）	
貸付実行可能期間	契約締結日から 5 年間（自動更新あり）	
資金用途	ヘルスケア領域 M&A 及び事業投資	
前提条件	契約所定の前提条件の充足	
契約締結日	2026年5月29日（本取締役会決議日）	

# コンヴァノ社からの5つの戦略的支援

コンヴァノ社は支配株主として、自社グループの経営資源を最大限動員し、当社の時価総額 200 億円達成を全面的に支援

01	02	03	04	05
<p><b>医療法人・クリニック向け事業</b></p> <hr/> <p>コンヴァノ社の500院超の医療機関ネットワークを活用した医療法人・クリニックの紹介、業務受託契約スキーム設計支援、医療DX関連サービスの共同開発・提供、ヘルスケア商材の卸売・調達支援。</p>	<p><b>ヘルスケアM&amp;A推進</b></p> <hr/> <p>M&amp;A対象会社の発掘・交渉・デュー・ディリジェンス統括、取得スキームの設計、取得後のPMI実行支援。コンヴァノ社のI&amp;A事業のM&amp;A実行ノウハウを直接還元。</p>	<p><b>医療ローン事業の立上げ</b></p> <hr/> <p>医療法人・クリニック・医師個人・患者を対象とする融資・与信事業の立ち上げ。商品設計、与信審査体制構築、資金調達・債権流動化スキーム設計を全面支援。</p>	<p><b>経営インフラ整備</b></p> <hr/> <p>経営企画・財務管理・法務・コンプライアンス機能の高度化支援。コーポレートガバナンス体制整備、ヘルスケア領域に係る専門人材の確保支援。</p>	<p><b>役員派遣・専門人材</b></p> <hr/> <p>取締役候補者の指名を含む役員派遣。ヘルスケア領域における事業運営、M&amp;A実行、医療法人・クリニック向け事業推進、医療ローン事業の専門経営人材の紹介・確保。</p>

**シナジー：コンヴァノ社の医療機関ネットワーク × アクセルマーク社のビューティ&ウェルネス事業の顧客接点・ブランド資産**

# 時価総額 200 億円達成への道筋

コンヴァノ社の全面的後方支援のもと、4つのフェーズを経て中期的に時価総額 200 億円達成を目指す

## PHASE 0

2026年7月

### 資金調達完了・連結子会社化

- 本第三者割当の払込完了（9億円）
- コンヴァノ社による当社の連結子会社化が完了
- 本ファシリティ（30億円）の貸付実行可能

39 億円調達

## PHASE 1

2026年9月期内

### 上場維持基準への適合

- コンヴァノ社の連結業績取込みによる時価総額向上
- ヘルスケア領域M&Aの実行開始
- 継続企業前提に関する不確実性の解消に向けた取組み

時価総額 40 億円超

## PHASE 2

2027年9月期以降

### 連結業績の改善

- 高い収益性のヘルスケア系事業会社の段階的取得
- 持分法投資利益又は連結利益として早期寄与
- 医療ローン事業の立ち上げ

連結営業利益改善

## PHASE 3

中期

### 時価総額 200 億円達成

- コンヴァノ社の500院ネットワークの活用
- ヘルスケア領域での圧倒的なポジション確立
- 医療法人向けサービス・M&A・医療ローンの三本柱完成

時価総額 200 億円

## 希薄化の規模と発行後の資本構成

希薄化率

221.53%

25%ルール超/300%ルール内

発行後 議決権比率

68.91%

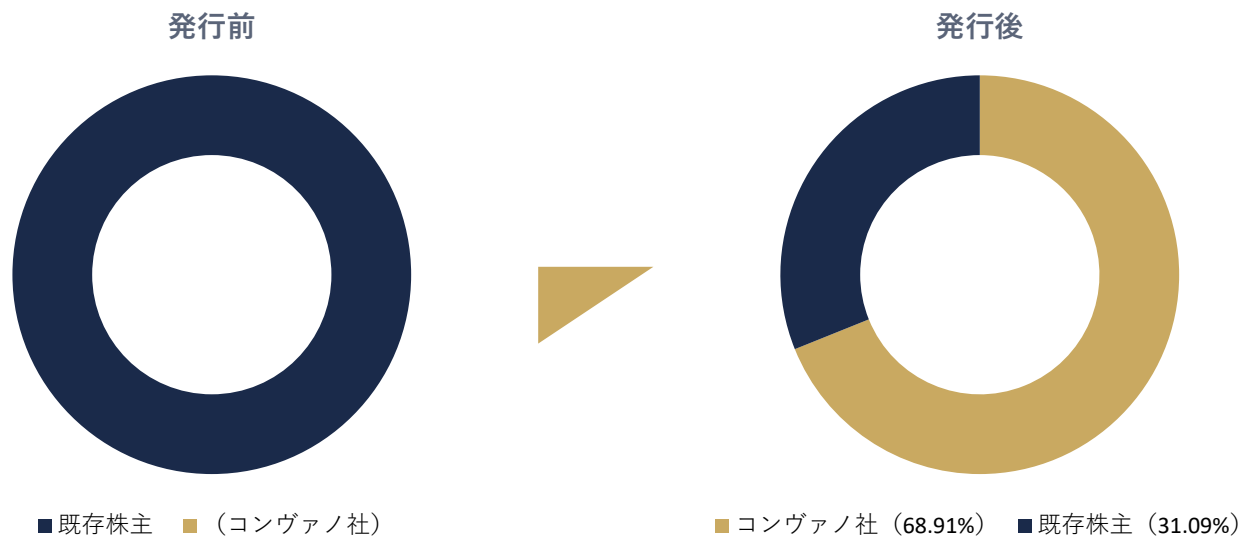
コンヴァノ社 (割当予定先)

発行済株式数

65.3 百万株

現20.3百万株 (2026年5月29日現在)

### 発行前後の議決権比率の変化



### コンヴァノ社の地位 (発行後)

- ✓ 主要株主である筆頭株主  
金商法第163条第1項
- ✓ 親会社  
会社法第2条第4号
- ✓ 支配株主  
上場規程第2条第42号の2

(注) 希薄化率、議決権比率、発行済株式数等の各数値は、2026年5月29日 (本取締役会決議日) 現在の数値を基礎に算出。議決権比率は小数点第3位を四捨五入。

## 既存株主保護のための多層的措置

(ア)有利発行該当、(イ)希薄化率221.53%の規模、(ウ)支配株主の異動発生という本件の特徴に鑑み、公正性を多層的かつ累積的に担保

<div data-bbox="234 416 410 591" style="text-align: center;">01</div> <div data-bbox="122 662 524 731" style="text-align: center;"> <p>第三者算定機関による株式価値算定書</p> </div> <hr/> <div data-bbox="122 891 524 979"> <p>茄子評価株式会社により、市場株価法・時価純資産法を用いた当社普通株式の理論株式価値を算定。</p> </div> <div data-bbox="122 1076 524 1150" style="text-align: center;"> <p>対応する論点 発行価額の客観的合理性</p> </div>	<div data-bbox="710 416 886 591" style="text-align: center;">02</div> <div data-bbox="598 662 1001 731" style="text-align: center;"> <p>独立法務アドバイザーの法的助言</p> </div> <hr/> <div data-bbox="598 876 1001 993"> <p>アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業より、会社法・金商法・上場規程等に基づく手続適法性につき継続的助言を取得。</p> </div> <div data-bbox="598 1076 1001 1150" style="text-align: center;"> <p>対応する論点 手続の適法性</p> </div>	<div data-bbox="1182 416 1358 591" style="text-align: center;">03</div> <div data-bbox="1072 679 1475 714" style="text-align: center;"> <p>監査等委員会による意見表明</p> </div> <hr/> <div data-bbox="1072 908 1475 965"> <p>本取締役会決議の適法性につき、独立社外取締役から意見を取得。</p> </div> <div data-bbox="1072 1076 1475 1150" style="text-align: center;"> <p>対応する論点 会社法上の適法性</p> </div>	<div data-bbox="1658 416 1834 591" style="text-align: center;">04</div> <div data-bbox="1564 679 1941 714" style="text-align: center;"> <p>臨時株主総会における決議</p> </div> <hr/> <div data-bbox="1549 862 1951 1008"> <p>①有利発行特別決議、②本株主意思確認決議（普通決議）、③特定引受人割当承認決議（普通決議）の3つの決議事項を本件前提条件として上程。</p> </div> <div data-bbox="1549 1076 1951 1150" style="text-align: center;"> <p>対応する論点 株主意思の直接的反映</p> </div>	<div data-bbox="2130 416 2305 591" style="text-align: center;">05</div> <div data-bbox="2035 662 2438 731" style="text-align: center;"> <p>6か月ロックアップ及び中長期保有方針</p> </div> <hr/> <div data-bbox="2035 862 2438 1008"> <p>コンヴァノ社と締結する株式引受契約のロックアップ条項に基づきコンヴァノ社は6か月間の処分制限を負担。加えて中長期保有方針を書面表明。</p> </div> <div data-bbox="2035 1076 2438 1150" style="text-align: center;"> <p>対応する論点 短期売却リスクの抑制</p> </div>
--	--	--	--	--

## 本件実施のメリットと本件不実施の場合の帰結

本件実施により既存株主の皆様が享受する5つのメリットは、本件不実施の場合に被る経済的不利益との対比において、極めて優位かつ実質的な価値を有します

### ✓ 本件実施による5つのメリット

#### ● 39億円の確実な資金調達

エクイティ9億円+本ファシリティ30億円を改善期間内に確実に調達。代替手段では達成不能であった必要規模を充足。

#### ● 上場維持基準への適合可能性の確保

連結業績取込みによる時価総額向上、ヘルスケアM&Aの段階的実行により、40億円基準への適合に向けた現実的な道筋を確立。

#### ● 継続企業疑義の解消・早期黒字化

ヘルスケア事業会社の段階的取得による持分法投資利益・連結利益の早期寄与。

#### ● コンヴァノ社の経営資源の全面活用

500院超の医療機関ネットワーク、医療M&A実行ノウハウ、医療ローン事業、PMI支援、専門人材の派遣等を支配株主として全面動員。

#### ● 中長期的な企業価値・株主価値の向上

時価総額200億円達成を中期目標として位置付け。既存株主の中長期的価値向上を実現。

### ⚠ 本件不実施の場合の帰結（既存株主の不利益）

#### ✗ 資金調達39億円が実施されない

改善期間内に必要規模を確保する代替手段が実務上存在しないため、当社の事業継続自体が困難に。

#### ✗ 上場維持基準達成は極めて困難

時価総額約10億円（2026年5月28日時点）から40億円超への引き上げが、本件なくして実現する道筋は見えない。

#### ✗ 監理銘柄指定 → 上場廃止リスク

改善期間満了日（2026年9月末）に潜在株を保有している場合、基準未達なら監理銘柄（確認中）指定。猶予期間内も未達なら整理銘柄。

#### ✗ 株式の流動性喪失・市場性喪失

上場廃止に至れば、既存株主は株式を市場で売却する場を失い、回復困難な経済的不利益を被る。

#### ✗ コンヴァノ社の戦略的支援も失効

39億円の資金供与に加え、5つの戦略的支援、500院ネットワーク活用、時価総額200億円目標も全て消失。

本件実施による5つのメリットは、本件不実施の場合の経済的不利益（上場廃止リスク）を相当程度上回るものと評価

# 今後のスケジュール

本件取締役会決議から、株主総会、払込・連結子会社化、改善期間満了日、中期目標達成までのマイルストーン

